

県外審判活動報告書

報告者氏名 鎌田 純輝

参加大会名		JFA 第 49 回全日本 U-12 サッカー選手権大会	
期間	2025 年 12 月 25 日～29 日	開催場所	鹿児島ふれあいスポーツランド 鹿児島県立サッカー・ラグビー場 鹿児島県立鴨池補助競技場 白波スタジアム
チーフインストラクター名		名木利幸氏 古曽部統太郎氏	
同伴者名	なし		
日付	活動内容・担当試合	審判上・指導上で指摘を受けた点・内容	
12/25	15:00 チェックイン	大会目標	
	16:50 リスペクトワークショップ	●リスペクト	
	18:30 夕食	●四局面(攻撃,守備,攻→守,守→攻)	
	19:30 ワークショップ	●アクチュアルプレーイングタイムの増加	
12/26		●一生懸命走る・走りきる	
		《主審》	
		1 試合目	
		良い点	
	6:30 朝食	・良い緊張感をもちながらも、堂々と主審をすることが出来た。	
	8:00 移動	・判定基準を明確にジャッチすることが出来た。	
	9:30 ブルーデ FC(広島県)1-0FC 高知横内(高知県)	改善点	
	主審:櫻井統麻氏 補助:鎌田純輝	・サイドを広く使う事が出来なかった。	
	11:30 FC リバース(愛媛県)6-0 パルケ FC 前橋(群馬県)	・オフサイドラインの監視が曖昧になっていた。	
	主審:鎌田純輝 補助:横田流夢氏	・チームの戦術、個人の体格や技術など理解するのに時間が掛かってしまった。	
	15:15 ヴィセル神戸(兵庫県)5-0 東京ヴェルディ(東京都)	2 試合目	
	主審:櫻井統麻氏 補助:鎌田純輝	良い点	
16:45 移動	・グリーンカードの対象になるフェアプレーをしてくれた選手にグリーンカードを提出できた。		
18:00 夕食	改善点		
19:00 福島孝一郎氏による講話	・ベンチコントロールが出来なかった。		
20:00 全体会	・オフサイドライン、タッチジャッチの判定時に、ポジショニングが悪く、説得力が欠けていた。		
		・選手がヒートアップしていた時に、落ち着かせるコミュニケーションが出来なかった。	
		3 試合目	
		良い点	
		・2 試合目の改善点を活かし、ピッチを広く使い判定することが出来た。	
		・いわきアビレーションが 2 試合連続ということもありチームの戦術を早い段階で理解することが出来た。	
	6:30 朝食	改善点	
	8:00 移動	・負傷者の対応が遅れるときがあった。	
		・ボールの近くでジャッチする時があり、邪魔	

12/27	<p>10:30 FC カピオーネ福岡(富山県)5-1 いわきアビレーション(福島県) 主審:鎌田純輝 補助:横田流夢氏</p> <p>13:15 いわきアビレーション(福島県)3-2 武生 FC・ブルーキッズ(福井県) 主審:鎌田純輝 補助:横田流夢氏</p> <p>14:15 オオタ FC(岡山県)2-1 長崎ドリーム FC(長崎県) 主審:市川堇氏 補助:鎌田純輝</p> <p>16:45 移動</p> <p>18:00 夕食</p> <p>19:00 審判員研修</p>	<p>になっているときがあった。 ・予測外の事象が起きたあとの次のプレーの予測が出来ずに遅れて見る事があった。</p>
		大会に参加しての感想
	<p>6:30 朝食</p> <p>8:30 チェックアウト・解散</p>	<p>自分にとって、初めての全国大会で、全国の 32 人の審判員と関わっていくなかで、色々な経験をすることが出来ました。レフェリングの部分だけでなく、試合前後の立ち振る舞いや日常でのレフェリングに対しての会話など、自分が未熟であることを感じながらも、自分が出来る事を最大限発揮しました。その中で数多くの事を学び、研修では自分の考えを伝える大切さ、他の審判員の考えを学び、一つの事象だけでも数多く考えることが出来、自分の考えも増やすことが出来ました。</p> <p>今大会で納得出来る試合と改善点が多く見つかった試合と自分のレフェリングに波があり、一つ一つの試合でも細かい改善点がみつきりこれからの審判活動にかけがえのない4日間になりました。</p> <p>今大会に参加するにあたり携わって頂いた JFA、大会関係者、地域インストラクター、ユース審判、中国 FA、岡山 FA の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。</p>
	12/28	その他の報告事項
		<p>12/27 夜～12/28 朝にかけて、体調不良者が続出して為、12/28 のマクドナルドカップの審判がキャンセルになりました。</p>